

議会だより

平成27年 11月1日

# えりも

No. 15



9月定例会の概要

2P

平成26年度決算報告

3P

一般質問

8P

議会改革特別委員会を設置

11P

※カラー写真は、えりも町  
HPにて、ご覧いただけます

写真・海と山の幸フェスティバル



# えりも町議会第3回定例会

9月18、19日2日間  
にわたり第3回定例会  
が開催されました。

定例会では条例の改正  
や予算の補正など、提  
出された議案を慎重審  
議の結果、いずれも原  
案のとおり可決しまし  
た。

また、決算特別委員  
会が開催され、平成26  
年度一般会計、6特別  
会計の審議を行い、い  
ずれも認定されました。  
また、一般質問では  
4人の議員が登壇し町  
政に関する諸課題につ  
いて質問しました。

## 補正予算

・エゾシカ解体残渣処分料  
とエゾシカ侵入防止柵の  
補修等  
376万2000円

・役場庁舎ボイラー  
更新工事  
357万8000円

・豊似湖公衆トイレ建て替  
え工事・観光案内看板設  
置工事  
1100万円

・ふるさと納税お礼品  
リニューアルに伴うカタ  
ログの製作経費等  
71万3000円

・役場庁舎外壁調査・補修  
工事  
1670万円

・郷土資料館での観光情報  
の提供や体験事業用の備  
品の整備費  
240万円

・防災無線個別受信機追加  
購入  
537万9000円

・風の館施設管理形態見直  
しによる人件費(約2名  
分)  
585万7000円

・マイナンバー制度システ  
ム機器購入  
127万8000円

・灯台公園公衆トイレ等の  
改修工事  
123万4000円

・庶野保育所  
マイクバス購入  
975万1000円

## 人事

・えりも町監査委員の選任  
(前委員任期満了の為)

えりも町字庶野

丸山 政利(65)

## 意見書

・林業・木材産業の成長産  
業化に向けた施策の充実・  
強化を求める意見書を衆参  
議長、内閣総理大臣、各担  
当大臣へ提出。



役場庁舎(海側)調査・補修工事

決算特別委員会で一般会計及び6特別会計を認定

# 平成26年度決算・全会計報告

## 歳出合計71億3152万8409円 前年比5,9%増!

### ○平成26年度えりも町会計別決算総括表

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引残高
一般会計	48億6239万円	48億1817万円	4422万円
国民健康保険特別会計	10億7442万円	10億6709万円	733万円
簡易水道特別会計	1億5617万円	1億5513万円	104万円
診療所特別会計	4億251万円	4億8万円	243万円
下水道特別会計	1億9741万円	1億9581万円	160万円
介護保険特別会計	3億8043万円	3億7548万円	495万円
後期高齢者医療特別会計	5820万円	5794万円	26万円
合計	71億3153万円	70億6970万円	6183万円

※四捨五入のため合計は一致しません。

### ○平成26年度決算健全化判断比率

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質公債費比率	14.1	13.7	12.8	25.0	35.0
将来負担比率	41.5	33.6	25.9	350.0	—

◎町財政は、実質公債費率・将来負担比率ともに、基準値を大きく下回っており、健全な状態である。

#### ※実質公債比率とは…

地方債の元利償還金が財政に及ぼす負担を示す指標。18%以上になると起債（借金）の発行に国の許可が必要となる。  
25%になると一般事業等の起債が制限される。

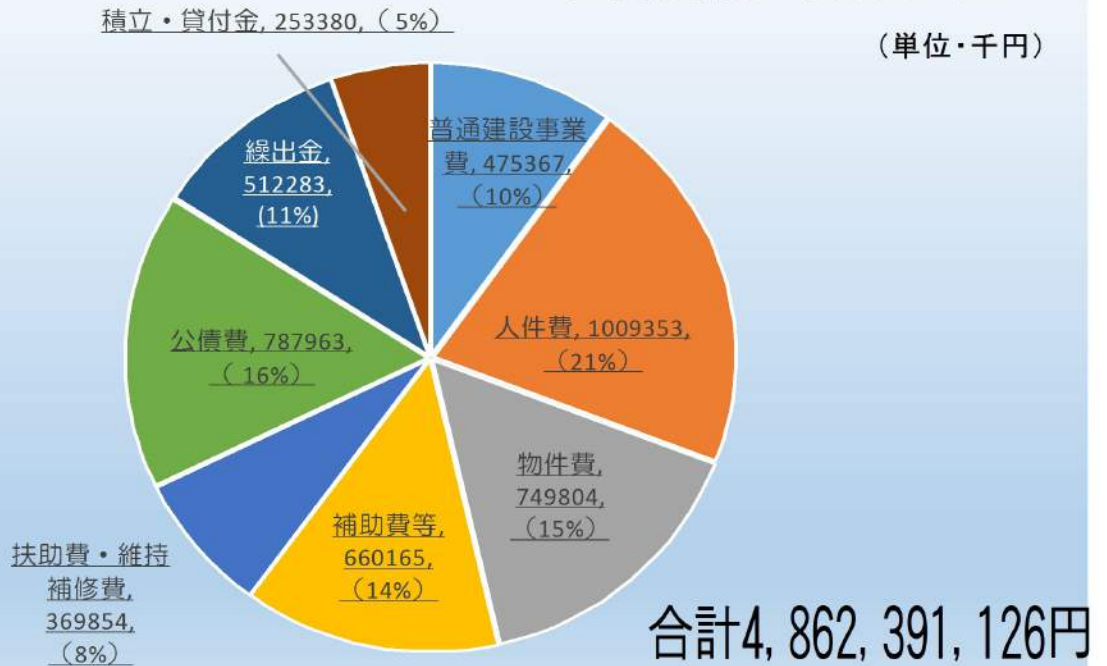
#### ※将来負担比率とは…

公社や出資法人も含め、自治体が将来支払う可能性がある負債の一般会計に対する比率で、350%以上になると早期健全化団体となる。



## 性質別歳出合計グラフ

(単位・千円)



### ○性質別歳出概要

区分	1町民当	備考
人件費	199,951円	特別職（町長他）、議員、職員給与、手当
扶助費	56,198円	児童手当、障害者介護給付金、臨時福祉給付金他
公債費	156,094円	町債（借金返済）元金・利子
普通建設事業費	94,169円	新浜団地1号線改良舗装、教員住宅建設、学校環境改善、車庫建設、庶野桜公園トイレ建設他
物件費	148,535円	ふるさと納税返礼品、温水プール解体工事、消耗品、光熱費他
維持補修費	17,070円	庁舎、町営住宅、灯台公園トイレ、その他公共施設の維持補修
補助費	130,778円	日高東部消防組合、日高東部衛生組合への負担金
積立金	28,011円	財政調整基金（ふるさと納税）他
貸付金	22,183円	産業振興資金、奨学資金
繰出金	101,482円	国民健康保険、診療所、下水道各会計他赤字補填

## 歳入合計グラフ

(単位、千円)



## ○町税の徴収実績

区分	収入済額	徴収率	前年度徴収率
町民税 (個人)	1,829,917,000円	76.2%	79%
町民税 (法人)	21,090,000円	96.5%	97.2%
固定資産税 (土地)	24,006,000円	70.1%	71.8%
固定資産税 (家屋)	77,849,000円	70.1%	71.8%
固定資産税 (償却資産)	38,210,000円	70.1%	71.8%
交納付金	148,000円	100%	100%
軽自動車税	10,429,000円	98%	97.1%
たばこ税	52,138,000円	100%	100%
<b>合計</b>	<b>4,067,877,000円</b>	<b>77.5%</b>	<b>79.6%</b>
国民健康保険税	306,451,000円	53%	52.2%



# 平成26年度決算意見書

※平成26年度決算意見書より一部抜粋

## ○財政の推移及び収支の状況

平成26年度の決算額は対前年に比べ、歳入5.7%、歳出5.9%の増となっている。この歳入増の主な要因は、地方交付税と国庫支出金が大きく減少したものの、ふるさと納税寄附金が大幅に増加したこと、消防デジタル無線整備事業等に伴う町債発行額の増によるものと考えられる。実質単年度収支でも1億4,119万5,000円の黒字となっている。

## ○国民健康保険の決算状況

収入未済額は2億7,179万5,527円で、前年度と比較して1,222万5,527円の増となっているほか、18万8,600円の不納欠損額があり、国民健康保険税の滞納額は、町全体の収入未済額の約60%を占めている。期限内納付をしている被保険者等との不公平が生じることのないよう厳正に対処することを基本とし、収納率の向上に向け不断の努力をされたい。なお、療養給付費等の増加は、国保税率の引き上げに大きく影響を及ぼすことから、健康づくりに対する啓発や特定健診の受診率向上など予防事業の充実を図り、一層の医療費抑制への取組みに努力されたい。

## ○収入未済額について

収入未済額は1億5,148万4,834円であり、これを25年度と比較すると577万3,985円、4.0%の増となっている。また、国保・簡水・下水道・介護・後期医療を含めた収入未済額は4億5,785万9,627円で、4.8%、2,110万2,456円の増となった。町税の不納欠損額は624万9,629円であり、その内訳は町民税58万329円、固定資産税で548万700円、国民健康保険税18万8,600円であり、不納欠損処分については、関係法令に則り適正に処理されているものと認められる。なお、負担の公正及び歳入確保の面で影響が大きく、慎重かつ厳正な取扱いが求められる。



# ○ふるさと納税寄付金の寄付状況

## ◎ 入金件数・金額

・特典制度開始前 (H26. 4. 1~26. 11. 30)	8件	・ 614, 000円
・ " 開始後 (H26. 12. 1~27. 3. 31)	11, 248件	・ 230, 945, 202円
	合計 11, 256件	・ 231, 559, 202円

## ◎ 使途の選択状況 (H26. 12. 1~)

※ふるさと納税寄付金制度は、納税者が、自治体に使い方を指定することが可能です。

### ①産業、観光の振興に関する事業

①2, 420件 (21. 5%) ・ 48, 307, 500円 (20. 9%)

### ②保健、福祉及び医療の充実に関する事業

②1, 554件 (13. 8%) ・ 32, 851, 500円 (14. 2%)

### ③生活環境の整備に関する事業

③570件 ( 5. 1%) ・ 10, 961, 000円 ( 4. 7%)

### ④教育、文化活動の振興に関する事業

④1, 785件 (15. 9%) ・ 35, 442, 001円 (15. 4%)

### ⑤指定なし (町長におまかせ)

⑤4, 919件 (43. 7%) ・ 103, 383, 201円 (44. 8%)

9月の定例会におきまして決算特別委員会が設置され、私が大変重大な職責であります委員長に選任されました。審査を付託されました案件は、「平成26年度一般会計」及び「6特別会計」の歳入・歳出決算報告の件です。委員並びに理事者説明員には終始熱心な審査をいただきました結果として、7会計とも認定されました事を、厚くお礼申し上げます。



大坂庄吉

決算特別委員会委員長

平成26年度  
決算審議を  
終えて

また理事者各位におかれましても、資料の作成等につきましてもご尽力をいただき、審査の円滑な運営にいろいろご協力いただいたことに対しお礼を申し上げます。

決算の審査を通じて広い視野から様々なご指導をいただきました。数々のご意見等につきましても今後十分留意いたしまして、予算の適正かつ効率的な執行になお一層の努力をお願いする次第です。

財源については、前年より引き続き非常に厳しい現状にあります。が、「ふるさと納税寄付金制度」により多額の寄付金を積み立てることができました。事が明るい話題です。えりもの知名度が高く評価されています。ことは大変ありがたいことです。

日増しに秋の気配が駆け足でやってきます。季節外れの台風、地震と不順な気象状況の中ではありますが、町民の皆様には、健康で希望が持てる明日に邁進する事を願っております。



# 一般質問

一般質問は、議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動の場です。町政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い政治姿勢を明らかにするものです。



大坂庄吉議員

ふるさと納税寄付金の財源事業に伴う町内業者への発注依頼は

## 問

大坂議員

ふるさと納税寄付金制度により寄付金を積み立て、6月定例会においてふるさと納税寄付金を財源とする補正予算が提出され、使途が示された。

入札における発注依頼は何社で、納期はいつぐらいになるのか。

## 答

産業振興課長

①パソコン入れ替えについては、町外2社へ入札案内済みで、納期は12月17日。②楽器購入は、町内3社、町外1社へ見積もりを行い、

町外1社に発注し納入済み。③部活ユニホームは、町内4社、町外1社へ見積もりを行い、町内2社、町外1社へ発注し、一部11月までに納入、他は納入済み。④笛舞小学校幅跳び用砂場補修工事は、町内8社へ見積もりを行い、10月下旬完了予定。



ふるさと納税で導入のドローン

⑤笛舞・東洋・庶野各小学校の鉄棒新設は、町外1社に発注依頼。11月中旬の完了予定。

⑥常設保育所運営費のエアコン購入は、町内業者1社に見積もりを行い、発注納入済み。

⑦観光費の無人ヘリコプター購入は、町外1社に見積もり・発注、納品済み。

えりも岬レストハウスについて

## 問

大坂議員

建設から45年が経過しているが大切に利用されているえりも岬の第一レストハウスの老朽化対策は取られているか。

又は、緊急に必要な補修にとどまっているのか現状は。

## 答

産業振興課長

第一レストハウスの建物に関しては、休憩ホール・トイレ・現在えりも観光協会が観光案内所として活用している。

旧国鉄バス待合所の部分については、えりも町の所有となっているが、みやげ物店兼食堂部分については、営業所業者の所有ということで登記されている。

昨年12月の突風による破損、今年6月の落雷が原因の火災等について緊急に必

要な箇所の補修に留まっている現状である。

また、個人の所有財産ということもあり、関係する3店舗及び、商工会、観光協会も含め、今後この施設をどうしていくかについて、今季も営業終了後に協議していく方向で調整している。今後の方向性について合意を得ていくには時間がかかるかと考えている。



老朽化の進む第1レストハウス





鈴木勇高議員

### 風力発電の推進について

#### 問 鈴木議員

化石燃料には限りがあり、現在のよう大量消費を続けると石油は30年、天然ガスは130年、石炭は数百年と言われている。風力発電は、毎秒5メートル以上の風が吹けば良いといわれているが、えりも岬では平均毎秒9、7メートルが観測されており、えりも町は日本有数の風力発電の適地なので、国に陳情する必要がある。

#### 答 企画課長

資源エネルギー庁では、北海道のうちえりも岬周辺は特に発電能力が高いエリアとされている。温暖化は

地球規模の環境問題であり、この解決に、風力をはじめとする再生可能エネルギーの活用が有効であることは広く認知されており、風力発電適地の自治体として国に対し、風力の積極的な活用を働きかけることは、重要な活動と考える。町としても、関係市町村と連携して、風力の積極的活用について、国に対ししっかり要望していきたい。



期待の高まる風力発電

#### ゼニガタアザラシ 専門の国立水族館建設に係る陳情について

#### 問 鈴木議員

自然保護の観点からすれば、ゼニガタアザラシ専門の「国立水族館」を建設し、ある程度飼育してから高圧

#### 答 産業振興課長

9月15日の報道のとおりゼニガタアザラシは、絶滅危惧Ⅱ類から準絶滅危惧種へとランクが下がり、今年度中に保護管理計画を見直すことになった。国が今後の保護管理計画において、個体数調整の方法として、アザラシを捕獲して水族館で飼育する方法も良いとした場合、国の責任で施設を建設すべきと考える。

水族館建設の募金を呼びかけることは町として実施する考えはないが、「ゼニガタアザラシ保護管理協議会」において町としての要望も盛り込んだ計画になるよう関係機関と協議していきたい。

#### 商店街の再生について

#### 鈴木議員

#### 問

商店街近代化計画が完成してから、33年が経過したが、本年になって商店街付近の駐車違反の取り締まりが強化され、町民が困っている。

根本的には、お客様ニーズによる駐車場整備がされていないからであると思われる。従って大型駐車場が整備されている他町村に車で買い物に出かけるのである。

私は、4年前から毎年担当大臣に陳情し、担当者に電話して過疎債の適用事業として、自治体単独事業では不可能であるので、第3セクターによる「道の駅（スーパー併設）」を大手卸（イオン等）の協力を得て開設すれば、町民購買力半分の協力を得れば、20億円以上の商業と50人以上の従業員が働ける中核店舗が開設されます。南部家川を大型天蓋工事をして現在の

#### 答 産業振興課長

灯台山を購入して店舗敷地と大型駐車場を整備すれば、大店法規制による1000平方メートル以内の中核店舗とサラリーマン600戸が町外で買い物せず、流出が止まるのです。中小企業庁、日本政策投資銀行等の関係者も現地にきて講演会を開きたいと言っている。町の商工会関係者に陳情したが未だに実現していない。町の考えを聞きたい。

6月議会でも答弁しておりますが既存業者の経営を圧迫することはあっても、地元商店街の再生につながることは考えられない。行政主導の「スーパー併設の道の駅」の建設は考えていない。

地域活性化対策として、プレミアム商品券や、ふるさと納税寄付金制度のお礼品の取扱業者を増やす対策を進めているのでご理解いただきたい。





高松亮裕議員

### 介護保険制度改革 に対する対応は

### 問 高松議員

昨年6月成立した医療・介護総合推進法は、社会保障関連の予算が膨らみ続けるなか、制度を維持するために利用者の負担が増加したうえ、サービスの内容の一部規制するなど、利用者にとって厳しいものとなっている。

また、軽度の介護が必要な「要支援1、2」の人は、デイサービスなどの通所介護や、ヘルパーを利用する訪問介護が国から市町村に移管され、市町村ごとにサービス内容や利用料金を決め、ボランティアやNPOにも委託できるようになる。

### 答 保健福祉課長

移管された場合の当町の財政負担、サービス内容や利用料金、さらにはボランティア等への委託など、どの程度検討され、移管時期はいつか。

財政負担については、平成29年度までは、前年度の費用実績に10%を上乗せした額を基準額の上限とする特例措置が設けられるが、基準額が拡大する反面、上限が設けられることになり超過した分は町の負担になる。

サービス内容については、移管後も現状と同じく、やはり福祉会とえりも町社会福祉協議会の2事業所を指定して実施することを検討している。

加えて、介護までが必要としない人にも、介護予防教室の開催や、家事支援・見守り支援などの生活支援サービスを考えている。

その担い手として、当面は地域の方や民生委員の方の協力を仰ぎながら、将来的には事業所への委託を視野に入れ、平成29年4月から事業を開始したい。利用料金については、介護保険制度と同様、1割を原則として検討する。



介護保険制度の進む改革

### 問 近藤議員



近藤一郎議員

### 水産連絡協議会の 設置について

昨年頃から当町でも始まった「ふるさと納税」での返

### 答 産業振興課長

礼商品は、全国的にも知名度を上げ、目覚ましい成果をあげたのは大変喜ばしい事である。

そこでこのブランド力をより強化するためにも、役場や漁協、漁業者や水産加工業者が連携し、「地方創生の政策パッケージ」の一つとして掲げられている農林水産業の成長産業化と重ねて、漁業振興を目的とした協議会等を発足させることを提案するが町の見解を伺いたい。

役場、漁協、漁業者や水産加工業者が連携し、漁業振興を目的とし協議会を発足させることを提案していたが、過去にも町が主導し水産加工関係者を集めて会議を行い、その中で関係者が連携し、いろいろなことについて検討協議できるような協議会を作っては、との話があったが、その時は大半の水産加工関係者は規模及び事業拡大をする考えがなく、現状の規模で長

く続けたいとのことから、結局話が進展することなく協議会の発足には至らなかった。

現状、それぞれの水産加工業者の経営規模、将来計画が大きく異なるので、同じ目的をもって連携し、まとめるのは難しいのではないかと考える。

内閣官房地域活性化伝道師の小林斉（ひとし）氏が指摘しているように「連携するためには合意形成を得る努力を図るよりも、行動する小さなチームが自ら取り組みを始め、トライ・アンド・エラーをどんどんやってみることが大切」と、まず志がある人から挑戦や行動を始め、その取組みに対して必要があれば町、漁協や商工会がバックアップしていくことの方が、より早く目的に近づくのではないかと考える。また将来、活動が進んだ段階において連携の必要や協議会が必要となった場合には、町としても協力していきたいと考えますのでご理解願いたい。



# 議会改革特別委員会を 全議員賛成の下で設置

## 委員長に上野勝廣議員 「社会情勢にあった議会改革を！！」

えりも町議会は平成23年の選挙後、議会改革に取り組み、議会広報の発行や住民との対話の会を開催することで、町民にとってより身近な存在となる事をめざしてきました。4月に行われた町議会選挙後、加速する社会情勢の変化に対応するために、そして今まで以上にえりも町の発展に寄与するために更なる議会改革が必要ではないか、との意見が出され、議員全員の賛成で議会改革特別委員会の設置が6月議会で決定されました。

9月18日に第2回委員会が開かれ、議員定数や常任委員会の活用、公報委員会や議会の議決事項などについて活発な議論を行い、来年の3月末を目処に結論を出したいという委員会としての方針が、委員長の上野勝廣議員からしめされた。

### 議会の動き

- 8月5日 全道林活議連総会
- 8月14日 灯台祭り海上安全祈願祭
- 8月19日 議会広報研修会
- 8月26日 大空町議会議会運営委員会行政視察調査
- 9月11日 議会運営委員会
- 9月17日 全員協議会  
第3回定例会
- 9月18日 第3回定例会  
決算特別委員会  
議会改革特別委員会  
広報特別委員会
- 9月25日 日高東部消防組合  
定例監査
- 9月29日 愛媛県大洲市友好  
都市交流促進協議会
- 10月4日 えりも海と山の幸  
フェスティバル
- 10月8日 広報特別委員会
- 10月20日 広報特別委員会
- 10月21日 日高東部消防組合  
実地監査及び決算
- 10月24日 えりも分屯基地開庁  
61周年行事
- 10月28日 所管事務調査  
議会改革特別委員会

## 第6回子供議会開催のお知らせ

開催日時 平成27年11月24日 午後3時より  
出席子供議員 各小学校1名 中学校3名 高校3名

### えりも町の未来を担う子供たちへ町長・教育長からのうれしい答えはあるのか…！？



第5回子供議会の様子

町内の児童、生徒が1日議員となり、町への要望や質問など、子どもたちの視線から将来のえりも町や現在のえりも町に対して一般

質問をしてもらいます。「町政をどのように感じているか?」「このような町にしたい。」これからのえりも町を担う子供たちが考えを伝える良い機会です。  
答弁を町長がすることで子どもたちにとって普段、体験できない経験となり、また、自分の住む街のことを真剣に思い、考えてもらえることを期待しています。  
そして、大人と違った視点で考える子どもたちの意見は、町にとっても良いアイデアを知る貴重な時間でもあります。一般の方も傍聴可能ですので是非お越しください。



# この人に聞く

N42の会 会長

新松 しんまつ たかし 隆



- ◎ S15年6月6日生まれ
- ◎ えりも町大和在住
- ◎ 日高信用金庫勤務  
S34~H12まで  
(うちS59~H12各地区支店  
長及び、本部勤務)
- ◎ えりも町代表監査委員  
H15~H27 (12年間・3期)
- ◎ N42° の会会長  
H25~現在

今回の「この人に聞く!!」は、12年間に渡り、えりも町代表監査委員として活躍され、日高町村等監査委員協議会会長、北海道町村等監査委員協議会理事などを歴任し、平成24年には、「監査功労者」として表彰され、本年9月をもって退任された新松さんにお話を伺いました。

### 高松

えりも町監査委員2名(有識者1名、議員1名)のうち代表監査委員として毎月1~3回、各会計の事務が適正に行われているかどうか監督・検査し、適確な意見を述べる重要な役職に12年間の長きにわたり、務められました。振り返って思うことは。

### 新松

毎回、緊張感をもって、指摘すべきところは自分なりに意見を述べたつもりです。

特に各会計における滞納に対し、公平性の観点からも厳格に対応するよう強く求めてきました。

振り返ると、大きな事故もなく、無事に終えることができ、安堵しています。

### 高松

今後はどのような生活を。

### 新松

自宅前の畑ではいろいろな野菜を育てていますし、クンシランをはじめ300鉢ほどの花もありますので、その管理もけっこう大変ですよ。(笑)

最近では、釣りクラブにも入って船釣りも楽しんでいきます。

晴耕雨読の生活で、自然体でいきたいと思っています。

### 高松

神社やお寺の会計、北緯42度の会の会長をされていると聞きました。

### 新松

会計はそろそろ後輩に譲りたいと思っていますし、北緯42度の会では、子供キャンプや海岸歩きなど子供たちが生き生きしている姿を見て頼もしく思います。えりもの豊かな自然を体験し、子供同士がふれあうなかで、健やかに成長されることを願って少しでも尽力していきたいと思っています。

### 高松

代表監査委員を退任されたとはいえ、まだまだ公私ともにお忙しいようですが、体には十分留意され、ご活躍を期待いたします。本日はありがとうございました。



自宅のガーデニングルームにて

## 編集後記

秋も深まり、ストーブが恋しい季節となりました。

時の流れの早さに驚く日々。

議会広報委員になって約半年が経過し、仲間にアドバイスを受けながらの活動ですが、皆様に親しまれる誌面作りの為、微力ながら努力していきたいと思っています。

さて、「海と山の幸フェスティバル」が秋晴れの下、開催され、大勢の来場者でにぎわいました。経済効果も大きく、えりも町が誇れる一大イベントとして益々発展されるよう祈念します。

「秋空にトンボ」気象状況の変化なのか今年はまだ見えません。この広報誌が配布される頃にはどうでしょうか…? 「川村」

### 議会広報特別

#### 委員会委員

- 委員長 高松 亮裕
- 副委員長 近藤 一郎
- 委員 川村 一治
- 委員 石川 昭彦
- 委員 大坂 庄吉